

佐々木商会（長野市・戸隠地区）

遊休農地への地元企業参入

従業員自ら農地復活

有限会社佐々木商会は、長野市内に事務所を構えるビル・建物等の清掃全般を行う管理会社である。平成22年春より遊休地解消を進め、農業分野への新規参入と労働力の効率化目指して企業自ら自主的に活動を始めた。

取り組む以前は、カヤが茂り、背丈ほどの雑木の発生した場所で所々大きな岩が顔を覗かせていた。トラクターで耕耘することも一苦労だったが重機操作も従業員で行い、約2ヶ月間の抜根や岩の除去作業の結果、再び農業ができる場所として復活することができた。



契約栽培による労働の活用

遊休地の解消を行った土地は、長野市戸隠地区内の北向き斜面約50a。代表者の住居も同地区内であったことから高齢化の進む付近の住民から耕作できなくなった農地を活用して欲しいという要望で引き受けた土地も多い。

解消した農地において薬草やジュース用加工トマト等の契約栽培を開始した。主な作業従事者は6名ほど、そのうち2名を栽培管理担当として位置づけ毎日の作業記帳、役割分担配分を行っている。耕作可能な農地が増えたことで輪作体系が可能となり、生産品種の幅も広がった。



また、農作業と本業のビル管理業とを一体的に業務管理することで労働力の効率化を図り企業経営の安定を担っている。

ただ、農業につき物の「青虫だけはどうしても苦手。」という従業員にとって虫との共存は解消しがたい項目となったようである。

【報告：長野農業改良普及センター】